

日本泌尿器科学会第 195 回熊本地方会 プログラム

日時:平成 30 年 3 月 10 日(土)

15 時 00 分~18 時 10 分

会場:ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2F 「平安」

住所:熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地

TEL:096-354-2111

◆地方会終了後、同会場にて『第 8 回 熊本泌尿器疾患研究会』を開催致します。

<補足>

- ◇口演時間は 1 題につき 7 分、討論時間は 3 分です。
- ◇形式は Windows Power Point に限定させていただきます。
- ◇データは USB メモリに保存し、受付にご提出下さい。
- ◇PC を持参される場合は、専用コード、出力端子用アダプタもご準備下さい。
- ◇会員証をご持参下さい。

◆ 近況報告(15時00分～15時10分)

◇熊本赤十字病院

泌尿器科部長 稲留 彰人

◆ セッション1(15時15分～16時25分)

座長:川上 茂生
(熊本総合病院)

1. 膀胱壁への穿通胎盤の1例

浮池 昌二郎、福島 結美、山口 隆大、神波 大己(熊本大学医学部附属病院)
瀬尾 優太郎、本田 智子(同 産科婦人科)

2. 当院で経験した後腹膜脂肪肉腫の2例

西澤 秀和、前田 喜寛、鮫島 智洋、銘苺 晋吾、二口 芳樹、陣内 良映、
土岐 直隆、菊川 浩明(熊本医療センター)

3. 前立腺全摘除術後に縦隔気腫を認めた1例

上野 成美、濱田 真輔、前原 遼、中熊 健介、宮前 公一、
原 一正、濱田 泰之(熊本中央病院)
木谷 公亮(川野病院)

4. 当院で経験した尿膜管癌の7例

林 英孝、銘苺 晋吾、西澤 秀和、鮫島 智洋、二口 芳樹、前田 喜寛、
陣内 良映、土岐 直隆、菊川 浩明(国立病院機構熊本医療センター)

5. 前立腺肥大症に対するHOLEPとPVPの比較検討

松永 欣也、谷川 史城、狩野 武洋、浅山 縁、井 秀隆、
鍋倉 康文、野尻 明弘(熊本泌尿器科病院)
高橋 渡(健軍熊本泌尿器科)

6. 当院における治療抵抗性前立腺癌についての検討

中熊 健介、宮前 公一、前原 遼、濱田 真輔、
原 一正、濱田 泰之(熊本中央病院)

7. 当院における腹腔鏡下仙骨腫固定術3例の検討

福井 秀幸、穴見 俊樹、林田 章宏、占部 裕巳、三上 洋、
渡邊 紳一郎、町田 二郎、副島 秀久(済生会熊本病院)
榊田 裕士(榊田泌尿器科外科医院)、安倍 弘和(亀田総合病院)

COFFEE BREAK (16:25~16:45)

◆ セッション 2(16 時 45 分~17 時 55 分)

座長:桑原 朋広
(熊本市民病院)

8. 破骨細胞様巨細胞を伴う G-CSF 産生膀胱癌の 1 例
穴見 俊樹、林田 章宏、占部 裕巳、三上 洋、福井 秀幸、渡邊 紳一郎、
副島 一晃、町田 二郎、副島 秀久(済生会熊本病院)
榑田 裕士(榑田泌尿器科外科医院)
9. CVP(接触式レーザー前立腺蒸散術)の初期経験
狩野 武洋、松永 欣也、谷川 史城、浅山 縁、井 秀隆、
鍋倉 康文、野尻 明弘(熊本泌尿器科病院)
10. 当院で経験した手術を要した急性陰囊症の 5 例
村上 道洋、冨永 成一郎、宮本 豊(熊本労災病院)
11. 高齢男性に発症した膀胱小細胞癌の 1 例
堤 茂高、原 千瑛、矢野 大輔、川上 茂生(熊本総合病院)
本多 次朗(本多胃腸科内科医院)
12. 筋層非浸潤性膀胱癌の経過観察中に認めた前立腺部尿路上皮癌の 1 例
井上 裕之、柏木 英志、武内 在雄、塩田 真己、今田 憲二郎、出嶋 卓、
清島 圭二郎、猪口 淳一、立神 勝則、江藤 正俊(九州大学)
13. 腹腔鏡下に切除し得た膀胱頸部パラングリオーマの 1 例
秋岡 貴弘、藤井 将人、月野 浩昌、上村 敏雄、
向井 尚一郎、賀本 敏行(宮崎大学)
14. 胎児診断で指摘された先天性水腎症患者の出生後経過に関する検討
里地 葉、石松 隆志、平山 英雄(平山泌尿器科医院)
甲斐 信幸、津崎 祥一郎(ひらやまクリニック)
中村 圭輔、桑原 朋広(熊本市民病院)

《2017年 会計報告》（18時00分～18時10分）

杉山 豊（熊本大学）

《第8回熊本泌尿器疾患研究会 特別講演》（18時30分～19時30分）

座長：熊本大学大学院生命科学研究 泌尿器科学分野
教授 神波 大己 先生

演者：京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学教室
助教 根来 宏光 先生

『体内時計の破綻と下部尿路症状—タダラフィルの話題も交えて—』

《情報交換会》（19時45分～）

25F「ブランミュール」

◆地方会参加単位登録手順

参加受付～参加単位登録までの流れ

- 1) 受付にて参加受付を行う。
- 2) 参加証を受け取り、記名欄に記名する。
- 3) 参加単位登録受付にて「会員カード」を呈示し、会員カードのQRコードをハンディターミナルで読み取ってもらう。
※「会員カード」をお持ちでない場合は、参加証の原本をご自身の専門医（初回・更新）認定申請時期まで保管し、申請書類に貼付して下さい。会員カードを作製されていない先生方は、日本泌尿器科学会 WEB サイトの「よくあるご質問」ページ(<http://www.urol.or.jp/other/faq.html>)より、「Q. 初めて会員カードを作製するには…」をお読み頂き、作製頂きますようお願い申し上げます。

【注意】

参加証は、後日 WEB 上で単位が確認できるまで（約3カ月程度）は大切に保管して下さい。その他、ご質問（単位登録に関する質問も含む）は、日本泌尿器科学会へお問い合わせ下さい。（TEL:03-3814-7921）